

国政・県政予算要望懇談会



正面挨拶しているのが酒井県議、その左へ伊藤県議、塩川衆院議員

24日、前橋市の県勤労福祉センターにおいて、日本共産党の国政・県政予算要望懇談会が開催され、県内各地から市町村議員や各団体の代表などが参加し、それぞれ要望等を出し合いました。

要望の聞き取りには、塩川てつや衆院議員、衆院選の小選挙区各予定候補者、伊藤祐司県議、酒井宏明県議などが参加しました。

これには井之川博幸議員も参加し、放射性物質による子どもの健康検査費の助成制度の実施や公営住宅の外付けエレベーターの設置などに関して要望を提出しました。

各団体等から提出された要望事項要旨（順不同）

- ・放射性物質による健康影響検査、または検査費助成の実施を求める。
- ・除染該当市町村のすべての除染費用について国の負担を求めます。
- ・学校給食の食材調理前検査実施と検査費用等の国負担を求めます。
- ・先天性赤血球異形成貧血患者の救済について
- ・公営住宅の外付けエレベーターの設置について
- ・貧困対策事業を2012年度事業として実施すること。
- ・ホームレス等の全体像や実態の把握を行なうこと。
- ・無料低額診療事業に関連して、保険薬局にも同様の対応が可能となるよう検討すること。
- ・中小企業憲章にふさわしい「中小企業振興条例」の制定について
- ・米軍機低空飛行問題とオスプレイ訓練飛行問題について
- ・子ども・子育て関連法（新システム）は実行しないこと。
- ・教育予算の増額・教育費の無償化など教育条件の改善を求める。

時代にあった中小企業振興条例の制定を

国・県の中小企業憲章に見合った条例を

国は2年前に「中小企業憲章」を閣議決定し、群馬県は「中小企業憲章」を制定しました。沼田市も「中小企業憲章」を制定し、古い「中小企業振興条例」を見直し、時代にあった「振興条例」を制定する必要があります。

井之川博幸議員は、以前から時代に合うとともに、地域に密着した「地域循環経済」の構築を柱にした「中小企業振興条例」の制定を求めています。



井之川博幸市議

第30回

くらしと健康まつり 「きらめき祭」にも2000人

21日、十王公園で開催された「第30回 くらしと健康まつり」には、天候にも恵まれ多くの市民で賑わいました。同時に行なわれた利根中央病院の「きらめき祭」は、利根老健前から沼須町の新病院建設予定地までバスでの送迎があり、2000人ほどが参加しました。



フラダンスに見入る観客のみなさん

2012年10月28日 No.631

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料